

設楽ダム建設事業に伴う発掘調査

そえざわ

添沢遺跡



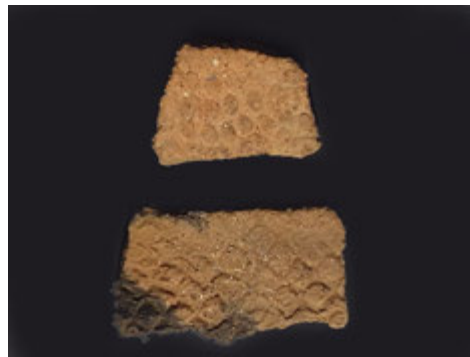
20Ac 区調査時の 20A 区全景 (北西から)



20Ac 区で検出された谷地形 (東から)



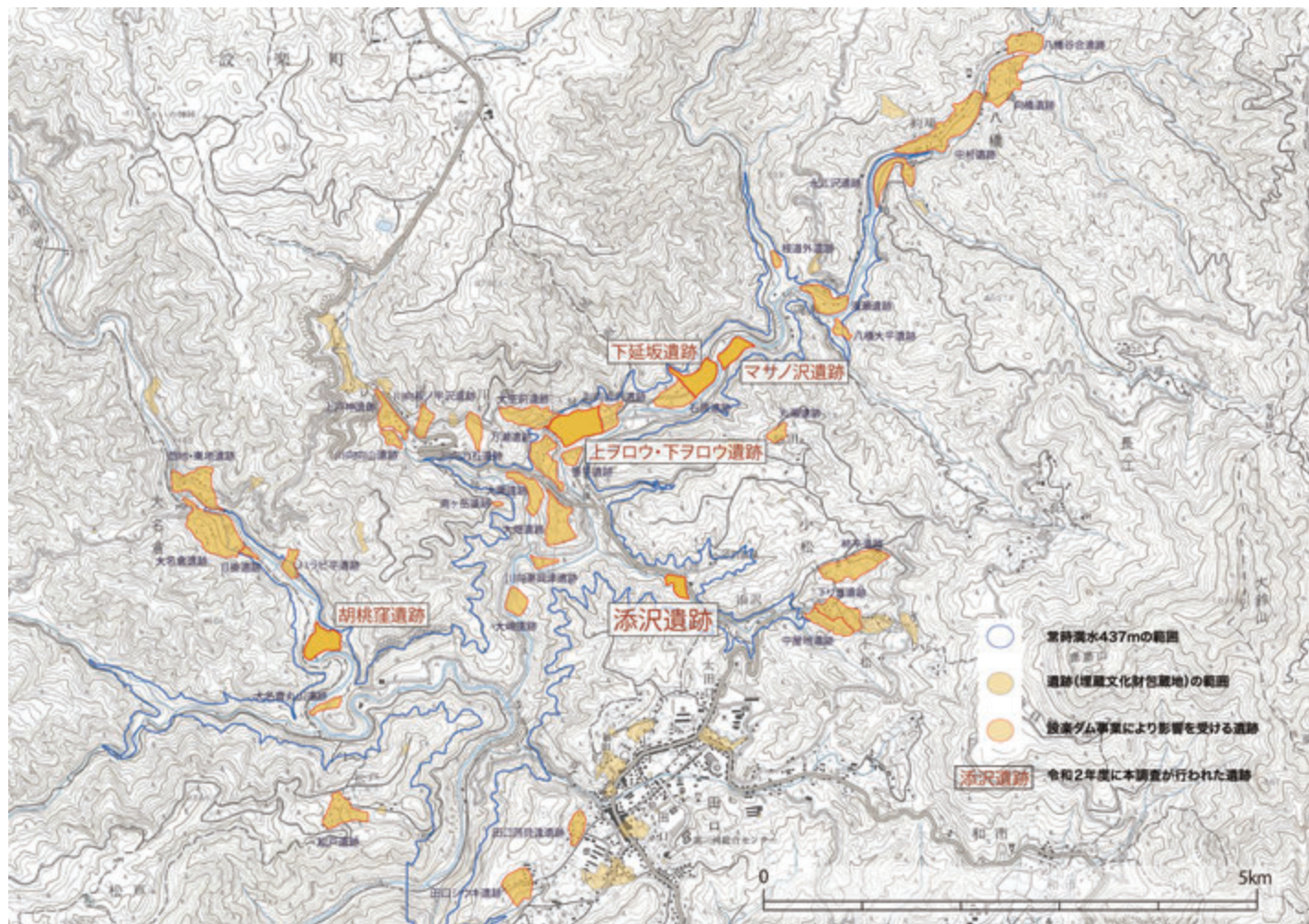
さっき
削器 (縄文時代)
20Ac 区出土



おしがたもん どき
押型文土器 (縄文時代早期)
上: 20Ac 区、下: 20Aa 区出土



こざら
小皿 (鎌倉時代)
20B 区地表で採集



添沢遺跡位置図



添沢遺跡全景 (手前: 20B 区、奥: 20A 区)



20B 区の遺構掘削



20Ab 区谷地形のトレンチ調査

編集



調査支援

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>
国際文化財株式会社

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24
電話 (0567) 67-4163 【調査課】

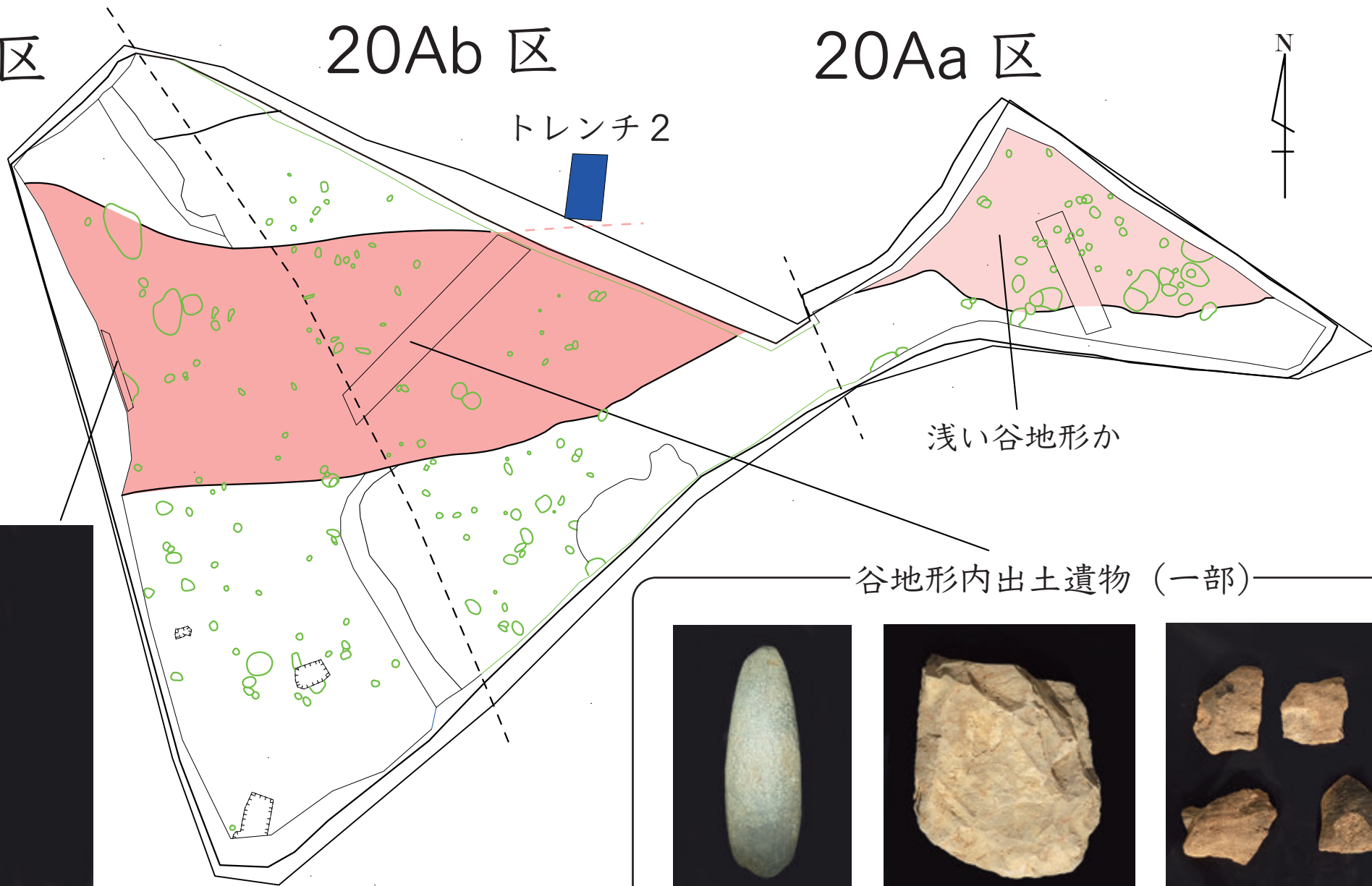
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

20Ac 区

20Ab 区

20Aa 区

トレンチ 2



鉄製品(鉄鏃か)

谷地形内出土遺物 (一部)



磨製石斧



打製石斧



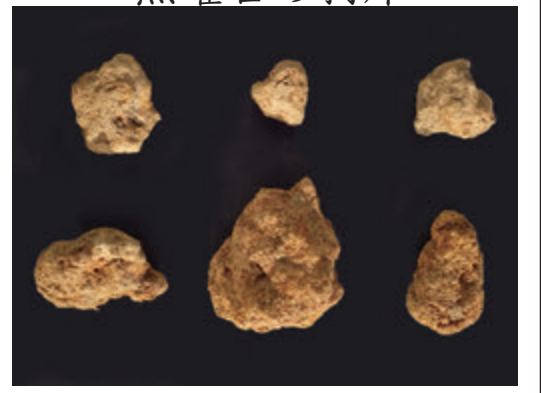
土器片 (縄文時代)



山茶碗 (中世)



黒曜石の剥片



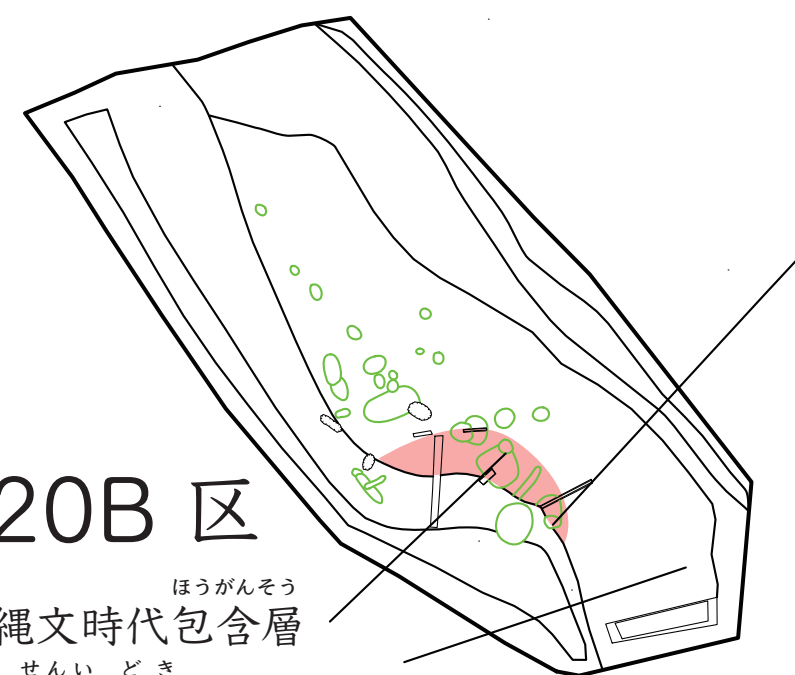
鉄滓 (中世か)

今年度の添沢遺跡の調査では、調査区をA・Bに分け、A区をさらに3分割して行っています。また、2箇所^{トレンチ}でトレンチ調査を行いました。

20B区では縄文時代早期^{縄文時代早期}の土器片^{土器片}が出土し、磨製石斧^{磨製石斧}も1点出土したほか、鎌倉時代^{鎌倉時代}から室町時代^{室町時代}の山茶碗^{山茶碗}が地表で複数点^{複数点}採集されています。

20A区では東西方向に伸びる谷地形^{谷地形}が検出されました。そこからは縄文時代早期^{縄文時代早期}や縄文時代後期^{縄文時代後期}から弥生時代初頭^{弥生時代初頭}の土器片^{土器片}、磨製石斧^{磨製石斧}、打製石斧^{打製石斧}、黒曜石の剥片^{黒曜石の剥片}のほか、古代以降^{古代以降}の鉄製品^{鉄製品}、鉄滓^{鉄滓}、山茶碗^{山茶碗}などが出土しますが、近世以降^{近世以降}ものではなく、この谷は中世の間には埋まっていたものと思われる。

今回の添沢遺跡の調査では、谷地形^{谷地形}を中心に縄文時代^{縄文時代}や中世^{中世}の遺物^{遺物}が出土しています。ただ残念ながらこれらの土器・石器^{土器・石器}を使った人々の生活の痕跡^{生活の痕跡}は見つからず、近く^{近く}の場所から添沢遺跡^{添沢遺跡}へと遺物^{遺物}が流れ込んだものと思われる。



20B 区

縄文時代包含層
縄文時代早期
繊維土器 (縄文時代早期) 出土



磨製石斧

トレンチ 1

